

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 りとる大地		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 15日		R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 15日		R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援は基本的に園送迎の為、保護者様とお会いする機会が少ないですが、連絡帳ノートや電話、メールを活用し情報交換を密に行う事が出来ているところです。	児童発達支援に来るお子さんは年齢が幼いお子さんが多い為、些細な事でも連絡帳にとどまらず、メールや電話で連絡を入れお伝えするようにしています。	施設の設備・安全性、スタッフの数等が分かりにくい印象が伺えました。今後、毎月発行する通信にそのような内容を加え、より施設やスタッフの認識・理解を深めたいと思います。
2	保育士、PT、OT、STと多職種があり、その子の発達に応じた適切な支援へ結び付けることができています。	多職種がいることを活かし、担当外のスタッフも一緒に関わる機会を設け、都度、適切な援助を検討しています。	
3		児童発達支援と併行して保育所等訪問を行い、園とも方向性を合わせた支援が行えるようにしています。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や地域と交流する機会を持っていないところは今後の検討課題と思われます。	一時的に通所する形での児童発達支援の為、地域や保護者同士の関わる機会が作れていないと思われます。	今後、地域や保護者同士の関わる機会をどのようにして実現していくべきか考えていこうと思います。
2			
3			